

みどり市温泉施設整備審議会 第10回会議 議事録

1. 開催日時 令和4年1月24日(月)午後2時から午後3時50分
2. 開催場所 笠懸庁舎 第1会議室
3. 出席者
 - ①委員 清水義彦委員(会長)、田中光子委員、小松俊二委員、石田義彦委員(副会長)、松嶋一郎委員、高橋健夫委員、深沢隆之委員、正田昌之委員
 - ②執行機関 (事務局) 社会福祉課 課長補佐 新井さゆり、
 - ③事業者 (株)桂設計 高井氏、中村氏

4. 会議の概要

議事として「パブリックコメントの結果」及び「基本計画(案)」の説明を事務局から行いました。

小松委員からの提案がありました。

計画敷地見学を行いました。

5. 出席者の発言の内容(要旨)

会長あいさつ

【会長】コロナが終わって温泉施設が完成することを願っています。今日は、前回基本計画をみなさんで目を通していただいて、この方向性でいだろうと、前回パブリックコメントで市民の目でしっかりみてもらおうと、今回パブリックコメントで上がってきた内容等説明を受けながら、最後この基本計画で市民のみなさんにいただいた意見も踏まえながらおかしいところはないかもう一度見ていきたいと思います。その後現地を見に行くことも予定しているようなので、よろしくお願いします。

議事

○パブリックコメントについて

【会長】1件だったのですか？

【事務局】1件でした。

【会長】どんな風に周知したのかももう一度教えてください。

【事務局】12月の広報に掲載し、笠懸庁舎、大間々庁舎、東支所に基本計画(案)を設置したのと、ホームページに掲載しました。

【会長】この内容でよろしいですか？

【会長】検討しますと最後はあるが、かなり積極的な回答ですね。

【石田委員(社会福祉協議会会長)】付加機能として検討するとあるが、技術的な問題、経費的な問題も出てくるし、管理費が上がってしまう。

【深沢委員(産業観光部長)】温泉を利用するターゲットは年配の方だと思うので、サウナがあっても使わないともったいないと思う。平日は余り使わないのであれば、慎重に検討

していくべきだと思う。土日に若い人が利用するのであれば集客にもつながるのであったほうが良いと思うが、費用対効果を考えながら、慎重に検討したほうがよい。

【石田委員(社会福祉協議会会長)】あくまでも福祉目的とするならば費用対効果は余り考えなくてもいいのかもしれませんがどうなのでしょう？

【深沢委員(産業観光部長)】サウナを利用する人は別の料金設定をするのもいいのかと思います。時間制限をしながら使用料を取っていくのも考えられる。

【会長】この施設規模で付加機能についても今後、基本設計を行う中で、検討していきます。」はどうでしょう。

【(株)桂設計】よろしいと思います。サウナは、多くの温泉施設で入っております。反対意見がないことはすばらしいことだと思います。

○基本計画(案)について

【小松委員(区長会副区長)】P32の年間収支の試算ですが、1,800万円の赤字より増えた場合のことをもっと考えてほしい。造っておしまいにならないようにしてほしい。企業にはペナルティがある。設備のあり方とコストのあり方を考えるべきだと思う。

【高橋委員(保健福祉部長)】この数字は利用料金や利用者数などから計算して出していますが、必ずこうなるという保証はないわけで、赤字が多くなれば市の負担が多くなるわけですが、今の状況ですとここに向けて努力していく、近づけるとしか言いようがない。出来るだけ来ていただけるような施設を計画していくことになります。

【小松委員(区長会副区長)】利用価値がありますか、市民に問いながら、進捗状況と共に市民に負担をしてもらうこと、市民からの了解をもらわないと、これからの話です。パブリックコメントではなくて、箱物行政ではなくて人が来るようなことを考えてほしい。

【会長】広報で、パブリックコメントでは伝えられなかったことを今後、基本設計を進めると温泉施設がどのくらい進んでいるかなど伝えてほしい。

【高橋委員(保健福祉部長)】市民には丁寧な対応をしていかななくてはならないが、議会にはその都度説明をしていきますので、市民のみなさんにこの計画について伝えていきたい。

一部議事録省略

【会長】基本計画はこれでよろしいでしょうか。

～～了解～～

その他

○小松委員からの提案

【会長】地方創生推進交付金についてみどり市の事務担当に聞いてみてほしい。経済環境省の基本設計のP40の説明を(株)桂設計さんからしてほしい。

【(株)桂設計】2種類ありまして、ZEBはゼブと読みまして、ネットゼロエネルギービルディング、建築業界では大変ホットなものではあります。ゼブ化することによりまして補助金の対象になることが大前提です。ゼブにもいろいろランキングがありまして、ゼブとは何なのか、ゼブのぜはゼロですので、使うエネルギーと作るエネルギーをリトルゼロにしましょうということで、ゼブの考え方です。省エネ部分のエネルギーを作っ
て行かないと完全なゼブにはならない、そうなったときにそこまでいかないけれどということ、ゼブレディやニアリーゼブがあります。50%、75%にクリアしていきますよというのがゼブです。当然これらの費用というのは相当お金がかかります。ゼブレディ 50%を検討した時に建設費は10%増えるというQ&Aがありました。それ以上やっていると建設費がかかってくるということになります。建設費もかかりつつ、補助率もバランスをとるとということになります。一番怖いのが補助金をもらうつもりで進めたら、最後で外されるというものはないと言い切れない。もう一つこの事業で注意しなければならないのが、令和5年度が最後です。今回の事業スケジュールですと乗かってこないの、継続するのか最近のホットな話題なので継続するのか、形を変えて継続するのかということ
ころです。

【会長】今後も注視していただきたいと思います。

【会長】地域が利活用できる施設にすることが大切なので、先程小松委員からの提案で子ども食堂との連携について、事務局どうですか。

【高橋委員(保健福祉部長)】子ども食堂につきましては、当然市としても必要性、重要性については理解しております。子ども食堂につきましては、笠懸庁舎の近くの障害者施設を運営しております法人が近々開設するということでただいま建築している状況です。みどり市は子ども食堂の運営に関して支援、協力していくことで協定書のほうを結ばせていただきました。こども食堂が重要だということは理解しておりますが、そちらの今造っているところを支援していきたいと考えております。温泉施設には、子ども食堂とうことではなくて、多目的室を設置していきますので、出来ることを行っていきたいと考えています。

【会長】施設として採算が取れなくてはいけないので、議会にも報告しているということでしたが、市民にも伝えていっていただきたい。

【事務局】今後のスケジュールですが、3月の下旬に、基本計画を市長に答申をしていければと思っています。それと、来年度のスケジュールをお示し出来たらと思います。

それでは現地に行きたいと思います。

○計画敷地見学

質問なし

○閉会